

令和 2 年度  
飛驒市一般会計予算（補正第 2 号）の概要





## 6月補正予算（一般会計補正第2号）のポイント

今回の補正予算は、当初予算編成後に生じた事由や国県補助事業の採択に伴う事業費の調整に加え、児童生徒に1人1台端末とすることでICT環境を整えるGIGAスクール構想の事業費を追加するほか、退職職員数等の確定に伴う人件費の調整など総額2億9百万円を追加し、補正後の予算額は211億4千6百万円（前年同期+12.6%）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の内示を受けたことから所要額を国庫補助金に計上するとともに、同額をこれまでのコロナウイルス対策補正予算の財源として活用してきた財政調整基金に戻し入れるよう調整いたしました。

### ■議会費

#### <議会費>

市議会における現状の議員数にあわせた手当等の調整に7百万円を減額しました。

### ■総務費

#### <文書広報費>

無作為抽出した市民を対象に市政世論調査を行うための経費3百万円を計上し、ニーズを継続的に全体把握することで今後の行政サービス向上に取り組んでまいります。

#### <バス運行費>

市のバス運行を見直し、一部地域の路線で市民ドライバーによるデマンド式の乗合タクシーを試験的に導入する経費4百万円を計上し、効率的で利用しやすい公共交通の実現を図ります。

### ■民生費

#### <老人福祉費>

高齢者お出かけ安心支援事業における安全運転サポート車購入補助と補聴器購入補助の2本立て施策について、申請状況から今後の不足見込額1千万円を計上するほか、高齢者の住宅改善補助金の不足見込額1百万円を増額し、生活環境を向上させます。

### ■衛生費

#### <保健衛生総務費>

飛騨圏域の周産期医療を支えるための意識醸成を目的に、医療機関等の専門スタッフを中心としたワークショップを開催するための経費1百万円を計上し、医療圏域である高山市や白川村を含む2市1村共同で取り組んでまいります。

■農林水産業費

＜農業振興費＞

農業後継者の減少による担い手不足を背景に、専門家を交えた徹底した話し合いを通じて農地の集積化・集約化を図る取り組みに必要な経費1百万円を計上するとともに、古川町杉崎地内の土地改良事業に必要な経費6百万円を貸付することで円滑な組織運営を図ります。

＜畜産業費＞

機械の価格改定に伴い、牛の健康状態をリアルタイムで把握できるスマート農業技術補助金の不足見込額1百万円を増額するほか、飛騨牛一貫農家の認定農業者になることを条件に新たに就農する対象者に県補助金を財源として1百万円を計上しました。

■商工費

＜商工振興費＞

祭礼に欠かすことのできない提灯の制作や修理について2年間の修行を終えた後継者が自立するための環境整備補助金1百万円を計上し伝統文化を後世に引き継ぎます。

＜観光費＞

かわいスキー場の圧雪車やリフトを修繕する経費5百万円を増額し今シーズンの安全を確保します。このほか、流葉スキー場については今シーズンの営業開始に向けた準備経費として、索道メンテナンス費用やリフト監視室の改修など、安全性の確保のために必要な経費を3千万円計上しました。

■消防費

＜非常備消防費＞

地元消防団員の退団者数が確定したことに伴う退職報奨金の不足見込額2千3百万円を増額するほか、国から救助用資機材積載型小型動力ポンプ積載車を無償貸与されることが決定したため、購入予定台数を調整し9百万円を減額します。また消防団設備として必要になる発電機や投光器、トランシーバー購入について国補助金の採択が決定したため1千2百万円を増額し、消防団の救助能力向上を図ります。

■教育費

＜外国人語学講師招致費＞

3年任期予定のALT3名について今年度に母国へ帰国することが決定し、新たに3名を招聘するための経費2百万円を計上しました。

＜教育振興費＞

国のGIGAスクール構想（児童生徒1人1台パソコン）を実現するため、ネットワーク環境整備を含む事業費として、小学校費に1億1千5百万円、中学校費に6千4百万円を計上し、ICTを活用した学びの環境を整えます。

■全般的事項

職員の退職や新規採用者の数が確定したことに加え、配置異動に伴う人件費の調整を行い、総額2百万円を減額しました。また、地域おこし協力隊や集落支援員など地域の活性化に寄与する人材の処遇改善として、企画費、地域振興費、林業振興費など合計で8百万円を増額しました。そのほか、国や県の補助金を財源として整備する建設事業については、今回の内示額にあわせた事業費とするため、道路新設改良費、急傾斜地対策事業費、公園費、住宅対策費など総額で8千2百万円を減額して調整しました。

■財政調整基金の残額

これまで新型コロナウイルス感染症対策として令和2年度予算を3回補正しており、いずれも財政調整基金を財源として調整してきましたが、今回国の交付金の内示を受けたため、同額を基金に戻し入れる調整を行いました。

補正前残高	5,987,179千円
今回補正	+128,147千円
補正後残高	6,115,326千円

## 予 算 総 括 表

(単位:千円)

会計	補正前予算額	(%) 構成比	補正予算額	(%) 構成比	補正後予算額	(%) 増減率	財源内訳			
							国県支出金	地方債	その他	一般財源
01 一般会計	20,936,830	70.98	209,483	98.89	21,146,313	1.00	198,200	△11,500	150,930	△128,147
09 農村下水道事業特別会計	327,000	1.11	2,362	1.11	329,362	0.72				2,362
特別会計合計	8,559,000		2,362		8,561,362		0	0	0	2,362
合 計	29,495,830		211,845		29,707,675		198,200	△11,500	150,930	△125,785

## 予 算 総 括 表

会計 一般会計

歳入

(単位:千円)

款	補正前予算額	(%) 構成比	補正予算額	(%) 構成比	補正後予算額	(%) 増減率	財源内訳			
							国県支出金	地方債	その他	一般財源
15 国庫支出金	3,784,325	18.07	191,962	91.63	3,976,287	5.07	191,962			0
16 県支出金	1,104,229	5.27	6,238	2.98	1,110,467	0.56	6,238			0
19 繰入金	1,716,338	8.20	△7,068	△3.37	1,709,270	△0.41			121,079	△128,147
21 諸収入	782,380	3.74	29,851	14.25	812,231	3.82			29,851	0
22 市債	1,163,700	5.56	△11,500	△5.49	1,152,200	△0.99		△11,500		0
合 計	20,936,830		209,483		21,146,313		198,200	△11,500	150,930	△128,147

## 予 算 総 括 表

会計 一般会計

歳出

(単位:千円)

款	補正前予算額	(%) 構成比	補正予算額	(%) 構成比	補正後予算額	(%) 増減率	財源内訳			
							国県支出金	地方債	その他	一般財源
01 議会費	120,327	0.57	△5,872	△2.80	114,455	△4.88				△5,872
02 総務費	4,761,860	22.74	△4,791	△2.29	4,757,069	△0.10	5,390		11,424	△21,605
03 民生費	4,161,232	19.88	4,860	2.32	4,166,092	0.12	1,245		10,275	△6,660
04 衛生費	1,532,025	7.32	1,412	0.67	1,533,437	0.09				1,412
06 農林水産業費	1,151,298	5.50	6,207	2.96	1,157,505	0.54	2,691			3,516
07 商工費	1,546,425	7.39	34,643	16.54	1,581,068	2.24	143,671		33,550	△142,578
08 土木費	2,535,629	12.11	△72,983	△34.84	2,462,646	△2.88	△49,683	△39,900		16,600
09 消防費	725,181	3.46	19,228	9.18	744,409	2.65	3,964	△9,000	28,947	△4,683
10 教育費	1,357,518	6.48	226,779	108.26	1,584,297	16.71	90,922	37,400	66,734	31,723
合 計	20,936,830		209,483		21,146,313		198,200	△11,500	150,930	△128,147